

2026年度版



名古屋大学 大学院工学研究科  
電気工学専攻先端エネルギー講座

吉田研究室

～超伝導技術の更なる発展のために～



Member

# 現所属メンバー



## STAFF

教授 吉田 隆  
准教授 堀出 朋哉

客員教授  
客員教授

松本 要  
一野 祐亮

## STUDENT

D1 伊藤 駿汰  
奥村 慎  
M2 川端 康介  
長江 凌雅

M1 加藤 伊吹  
神道 凌也  
鈴木 鳩馬  
竹市 朋央

B4 遠藤啓太  
中田健斗  
中山弥央  
牧凜太朗



# 超伝導は魔法の石(材料)

## ご挨拶

電気工学専攻 吉田 隆 教授

エネルギー・環境産業への大規模投資によって、新しいエネルギー・ネットワーク社会が構築されつつあります。最近では太陽光・風力などの再生可能エネルギー源、IT技術を用いたスマートグリッド技術、高性能バッテリーを搭載したプラグインハイブリッド車など、環境に優しい高効率なエネルギー材料が求められています。このような環境エネルギー技術開発の中で我々は高効率エネルギー利用技術である「超伝導材料技術」を中心とし、これらの技術融合などによる「最先端環境・エネルギー材料技術の構築」を図っています。我々の研究室は、上記の研究を通してエネルギーの有効利用、希少金属代替技術や低炭素社会の構築を目指し、地球環境保護という大きな問題に取り組んでいます。

「超伝導技術」は高効率大電流送電および高性能電力貯蔵にむけたエネルギー技術と期待されています。さらに、実用化が見えてきた磁気浮上鉄道などに応用される超伝導マグネット技術も着実に推進していく必要があります。その一例を下記に紹介します。

### 【超伝導技術】

- 超伝導システム応用に向けた超伝導線材・マグネットの開発

高性能超伝導体をエネルギー分野に応用するためには、超伝導体を用いた超伝導線材が必須です。そのため、エピタキシャル薄膜成長技術を拡張した新しい長尺薄膜作製技術の開発を行っています。

### 【最先端エネルギー環境材料工学への展開】

- ナノ構造制御・薄膜成長制御による機能性薄膜の性能向上

超伝導体や熱電変換材料などの最先端エネルギー環境材料に、ある不純物を添加すると、不純物がナノサイズで自己組織化し、思わぬ機能を発現します。これを積極的に制御・利用し、世界最高性能を持つ材料開発をめざしています。

# 准教授

電気工学専攻 堀出 朋哉



超伝導線材の開発によりMRIや高磁場マグネットが実現してきました。そして現在核融合や航空機への応用に向けて高温超伝導線材の研究開発が進められています。超伝導線材の性能を制御するには、超伝導の示す特異な電磁気学的性質を制御する必要があります。さらに高温超伝導線材は今まさに工業化の段階に入ってきており、量産プロセス技術開発にブレークスルーが求められています。当研究室は核融合や航空機など最先端の超伝導応用に向けた高温超伝導線材開発をリードする研究室です。超伝導に興味のある学生さんと一緒に高温超伝導線材のフロンティアを切り拓いていきたいと思っています。



# 客員教授

電気工学専攻 松本 要

コーテッドコンダクターと呼ばれる銅酸化物高温超伝導体を用いた新技術が進展しています。私のこれまでの研究では、薄膜技術や大規模計算技術を用いてこのような新材料の最適条件を探ることでした。一方、最近では物質特性をコンピュータ上で高精度に計算した材料データベースや人工知能などを活用する「マテリアルズ・インフォマティクス」によって、最適化のための時間とコストを大幅に削減することが期待されています。従来の材料の最適化は研究者の経験と直感に依存していましたが、新しいアプローチの登場は大変興味深いもので、新発見や材料性能の大幅な向上が期待されます。皆さんと一緒に超伝導技術の革新に挑戦したいと思います。



# 客員教授

電気工学専攻 一野 祐亮

テレビなどで、液体窒素で冷却された超伝導体が磁石の上に浮かんでいる映像を目にすることがあると思います。高校生の頃にこれを見てしまった私は、超伝導に眠る無限の可能性に感動を覚えました。環境に関する様々な問題が浮き彫りになってきた昨今、超伝導はこれらを解決する救世主として、大きな注目を集めています。例えば、大電流低損失輸送ケーブルや電力貯蔵装置などへの応用が期待され、一部実証実験も行われています。また、ITERなどで一躍注目を貯めた核融合炉も超伝導が無ければ実現できません。まさに超伝導はエネルギー問題の「救世主」といっても過言ではありません。皆さんも、吉田研究室で我々と一緒にこの「救世主」の研究をしましょう



## D1 奥村 慎

高校時代はハンドボール部に所属しており、運動神経もピカイチ、ツッコミのセンスも抜群、バイクと車を所持していて、顔もいい。罪な男である。しかしそのイケイケな雰囲気とは裏腹に、研究にも真摯に取り組んでおり、そのギャップで一躍研究室の人気者となっている。

## D1 伊藤 駿汰

笑い上戸。本当に人の話を聞くのがうまい。院試で推薦をとれるほどの天才的頭脳の持ち主。いつも暇そうだが、暇なのはタスクが早すぎるが故、吉田研のエース。「女の子、今はいらないっすね」とか言ってイキってる。家でいつも寝ているだけとしか言わないプライベート隠しがち人間。よく言えばミステリアス。絶対女の子連れ込んでいると思うので情報もっている方は連絡を。



## M2 川端 康介

M1イチのネタの宝庫(?)全体輪講でグラフと図のデータ損失、居眠り、17時帰り厳守とネタに事欠きません。実はバイトではパスタのお店でキッチンを任せられているとか...。その腕前で胃袋からつかんでいくタイプです！日常系のアニメが大好きでほのぼのとした日々を送りたいと思っています。....zzzzZ



# メンバー紹介



## M2 長江 凌雅

サッカーが大好きで、試合の映像をいつも楽しみにしている。国内のこととも海外のことなんでも知っている。茨城出身でこの学年で唯一下宿しているので通学時間が短い。うらやましいですね。学食ではほぼ毎日カツカレーを食べている。まれによく体調を崩すので、お見舞いにカレーか納豆を持っていくといいかもしれませんね。

## M1 加藤 伊吹

吉田研究室のムードメーカー。ゲームや漫画が大好きで、頻繁に家で友達と飲み会を開くなど楽しそうな毎日を送っている。居酒屋では数種類のサワーを一人全部飲んでしまうような酒豪ぶり。あと毎日寝不足です。ですが、休んだことはなく、毎朝きちんと研究室にいます。生活スタイルが謎なのでぜひ聞いてみてください。



## M1 神道 凌也

吉田研究室唯一のスポーツ青年。ラクロス部に所属しており、非常に健康的な生活を送っている…と思いきや、机には大量のコーヒーの空き缶、謎のカフェインの錠剤！吉田研で最初に人が倒れるとしたら彼でしょう。（実際に家で倒れてました）



# メンバー紹介

## M1 鈴木 優馬

広島から優しい青年。広島弁を使っているとある人に極道の跡取りかどうか聞かれたため、すぐに矯正したそう。B4の中で一番風邪にかかるて休んだ人間。それも22時就寝4時起床というジジイの生活をしているからかもしれません。サッカーをしていたそうだが、野球しかほとんど観ないそう。



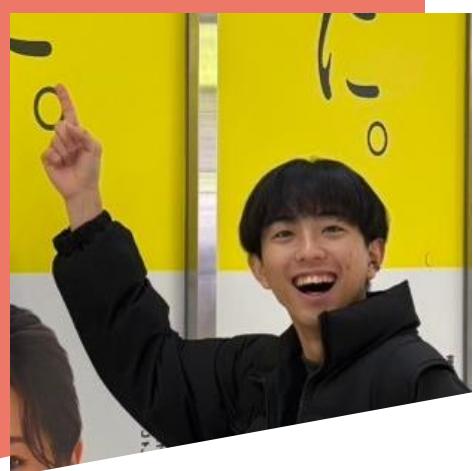
## M1 竹市 朋央

吉田研究室のコンピューターマニア。コンピュータ用語を相手が知っている前提で話すため、大体ついていけません(笑)。ネットワークやPC機器などのトラブルや相談があれば真っ先に彼を頼りましょう。何でも解決してくれます。チャームポイントはこの笑顔です。



## B4 遠藤啓太

吉田研4の笑顔担当。コメダ珈琲店のファン兼従業員で、知識量は研究室随一。コメダに関する困りごとは彼に相談しよう。ラーメンが大好きで、着丼前にはイメージトレーニングを欠かさずに行う。普段の研究にもそれ以外のことにも手を抜かず真剣に向き合うマメな男である。



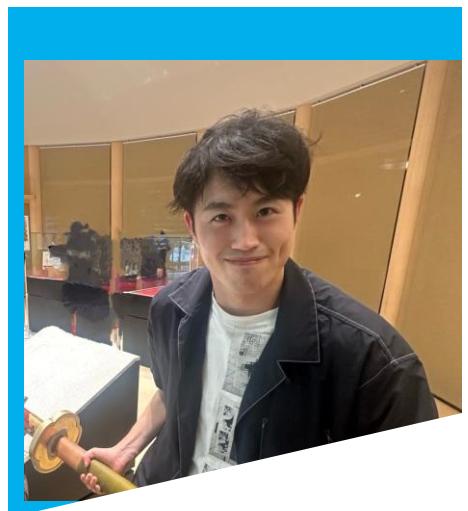


## B4 中田健斗

B4のほんわか担当。デスクにはポケモンのぬいぐるみを飾るほどポケモンが好きである。なぞに貫録を有しており、プレゼンの際にはその堂々たる姿勢に先輩を驚かすことも少なくない。意外と食事にかける熱量は多くない。

## B4 中山弥央

広島から来たB4唯一の下宿勢。もう一人の広島出身の先輩と実家が近いらしい。筋トレグッズが家にいくつが鎮座しているが、筋トレの話をすると決まって「最近サボっている」と言う。また、吉田研究室のコーヒーメーカーを最も利用しているのは彼である。好みのコーヒーにするために、いつからか砂糖とコーヒーフレッシュを常備するようになっていた。



## B4 牧凍太朗

ゲーム好きでリアルイベントやライブにもしそっちゅう参加している。何のゲームが好きなのかは彼の机の上に注目。度重なるグッズ代や交通費、そして同じく熱量の高いラーメン代を捻出するべくタイミングとして働く姿がよく見られる。B4でもっとも趣味が広く深い。様々な趣味が合う男である。





## 次世代電力機器に向けた 高温超伝導線材の開発



真空チャンバーを用いて  
nmスケールの超伝導薄膜を作製

nm級のミクロの世界から  
m級のマクロの世界まで

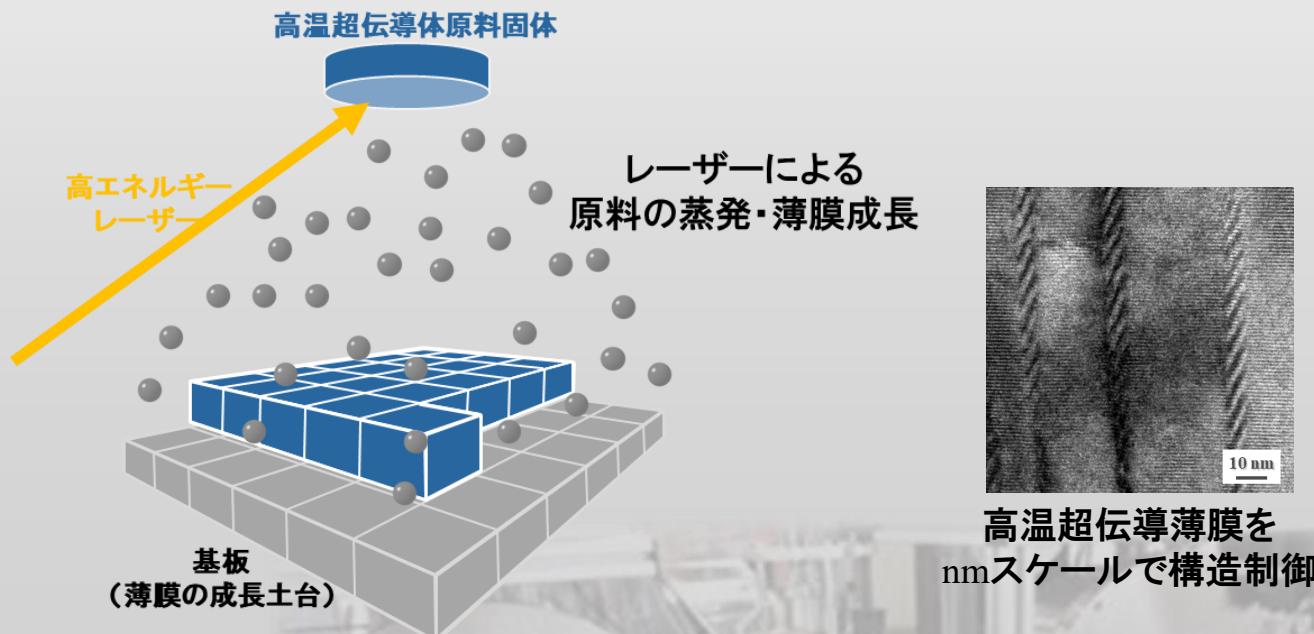
長尺作製チャンバーを用いて  
cmスケールの超伝導線材を作製

cmスケール

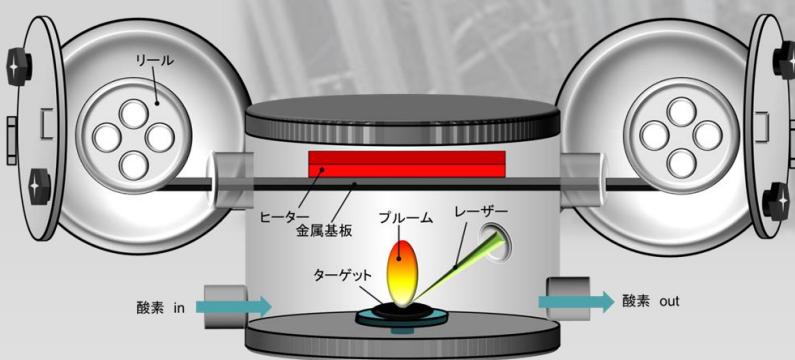


超強磁場マグネット作製のため  
mスケールの超伝導線材を作製

## 薄膜化技術による nmスケールでの構造制御



## 長尺化技術による mスケールでの線材作製



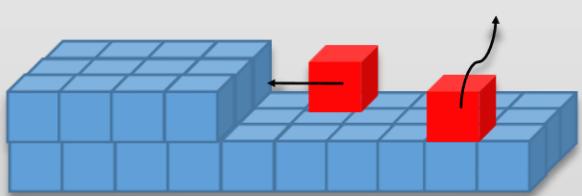
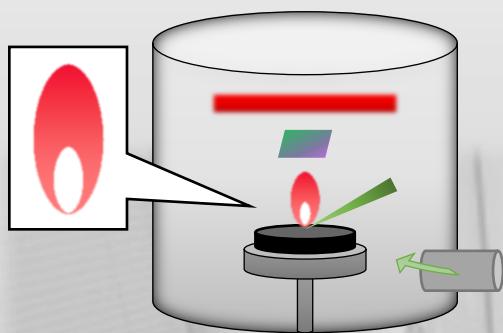
線材を常に移動させ薄膜成長

数十cm～数mに渡り均一な  
薄膜作製が可能

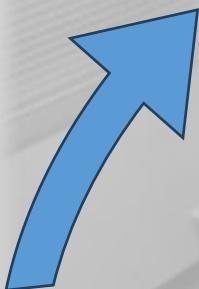


# 研究内容

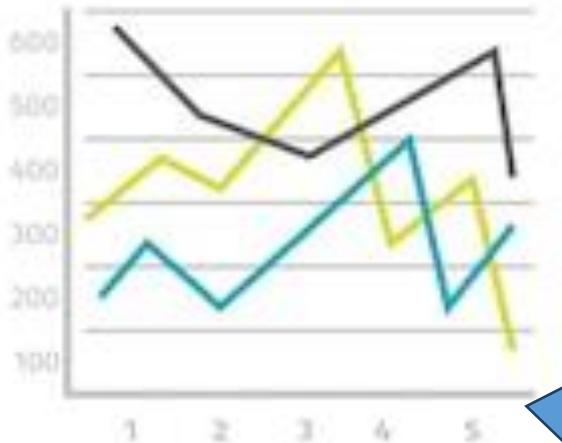
## 機械学習・AIを用いた 薄膜作成の効率化・最適化



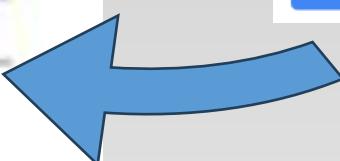
成膜プロセスの条件



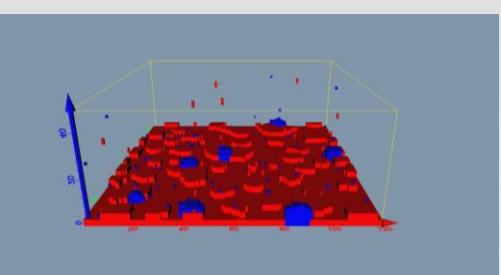
超伝導特性の推定



機械学習



原子レベルの  
結晶成長プロセスを再現

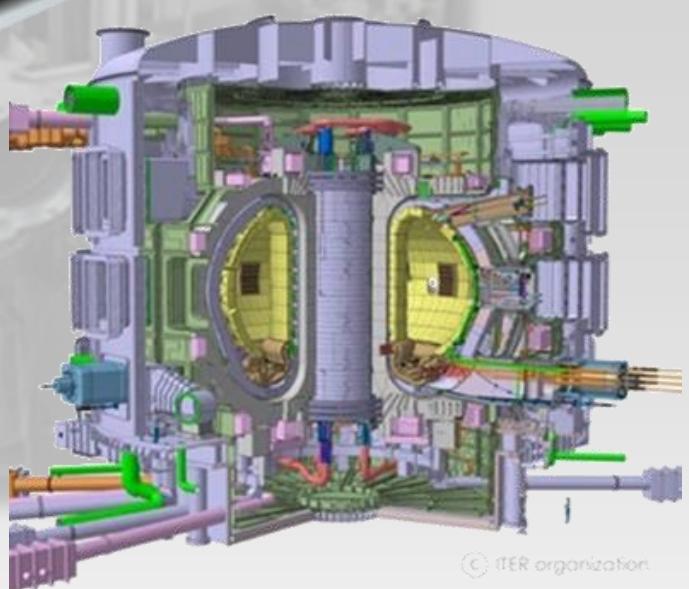


# 素敵な応用たち

EVに続き飛行機も電動化！



超高速移動を可能にする  
リニアモーターカー



未来のエネルギー源、核融合

# 実験装置



## 高エネルギーレーザー

ナノメートルレベルで構造を制御した超伝導体などの薄膜を成長させるために、高真空チャンバーを用いている。これらのチャンバーは用途によって使い分けられている。吉田研究室では、6台の高真空チャンバーが稼働し、様々な薄膜を作製している。

吉田研究室で主に扱っている超伝導体は酸化物であり、融点が非常に高い。これらの材料を薄膜にするために、高エネルギーのレーザーを用いて材料を蒸発させている。

吉田研究室には、エキシマレーザーと呼ばれる気体レーザーが2台、Nd:YAGレーザーと呼ばれる固体レーザーが2台ある。高エネルギーレーザー設備に関しては、日本でも有数の研究室である。



## 高真空チャンバー



## X線回折装置SmartLab(XRD)

非常に細い針を用いて薄膜表面をなぞることで、原子レベルで薄膜表面の凹凸を測定し、二次元画像化することができる。薄膜の表面形状からは、薄膜の成長環境や結晶欠陥など様々な情報を得ることができる。

薄膜の結晶構造解析に特化したX線回折装置。X線回折装置としては最高峰の性能を持ち、ほぼすべてのX線回折測定を行うことができる。これを用いて、薄膜の成長方位、配向、膜厚等様々なパラメーターの測定が可能となっている。。



## 原子間力顕微鏡(AFM)

# 実験装置



**走査型電子顕微鏡(SEM)**

9Tの強磁場を発生できる超伝導マグネットと、1.9Kまで冷却できる冷却機構を備えており、電気抵抗率の温度依存性など様々な電気特性を様々な条件下で測定可能。

新築マンション一部屋分くらいのお値段。

電子線を細く絞って試料表面を走査させ、試料表面から生じる二次電子を観察・画像化することで、試料表面の形状を数万倍まで拡大して観察することができる。また、エネルギー散逸型X線分光装置によって試料の化学組成を知ることもできる。



**物理物性測定装置**



**ICP発光分光分析装置**

未知材料や新規材料を薄膜にするためには、原料の作製が必要である。吉田研究室では、数台の電気炉を用いて、自分たちで材料を作製し、研究の高速化を行っている。

ICPとは誘導結合プラズマのこと、この装置ではArガスに高周波電圧をかけプラズマを生成する。分析試料にプラズマのエネルギーを与えて成分元素を励起させ、基底状態に戻るときに発する発光スペクトルから、成分元素の種類や含有量を求めることができる。



**各種電気炉**



## 9:30 登校・実験準備

多くの学生は9:00~10:00に登校します。吉田研では10:00までには実験を開始する様指導をしています。



## 10:00 実験開始

...

実験開始です。本日は超伝導の薄膜を作製するため、高出力レーザーと真空チャンバーを用いて実験を行います。



## 12:00 昼食

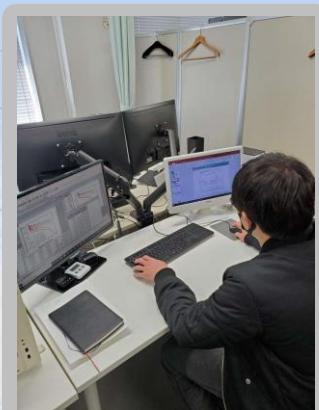
...

学生同士集まって食べたり、個人で食べたり様々です。この時間に昼寝をする人もいます。



## 13:00 実験の続き

特性評価のために、作製した薄膜の加工を行います。数多くの加工器具を用いて加工作業です。



## 16:00 データの整理など

...

吉田研では個人それぞれにデスクトップPCが与えられています。このPCを用いて実験データの解析や進捗報告用のスライド作成等を行っています。



## 17:00 帰宅

今日の作業は終了です。下校後はアルバイトに励む学生もいます。

# 吉田研B4の一年

4月

- ・花見 新歓
- ・予備実験 B4輪講スタート

吉田研へ  
ようこそ

5月

- ・院試勉強スタート

院試までは  
勉強に専念

6月

ラストスパート

7月

- ・大学院入試

院試お疲れ様

8月

- ・卒業研究スタート

温泉でゆっくり♨

9月

10月

装置の使い方を  
マスター

11月

- ・M1中間発表
- ・忘年会 大掃除

忘年会でパっと

12月

1月

- ・B3向け研究室紹介
- ・卒論執筆開始

早めに書き始めよう

2月

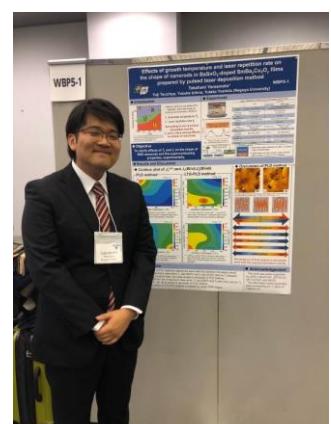
- ・M2修論発表会

卒論追い込み！

3月

- ・卒論発表会
- ・追いコン

サヨナラ先輩(涙)



## 問い合わせ先



052-789-5417 (吉田教授)



yoshida@nuee.nagoya-u.ac.jp



<http://www.nuee.nagoya-u.ac.jp/labs/yoshidalab/>



〒464-8603  
愛知県名古屋市千種区不老町  
名古屋大学大学院工学研究科3号館南棟563号室



研究室の**新たな仲間**をお待ちしております!!